

事業所名 小規模多機能居宅介護「笑楽日」・グループホーム「風楽里」

運営推進会議開催報告書

開催日時	令和4年10月19日	10:30~11:15	風楽里アルコープ
本日集まっていた委員の皆様	議 題		
利用者	2人	自己紹介 活動状況報告 身体拘束適正化検討委員会 スライドショー 質疑応答	
利用者家族（風楽里）	1人		
〃（笑楽日）	1人		
知見者	1人		
市職員	1人		
地域包括支援センター	2人		
地域住民の代表者	0人		
事務局	2人		

事務局・・・ お忙しい中 お越しいただきありがとうございます。

前は書面での開催となりましたが、第4回の今回は通常の会となり、対面でご報告ができうれしく思います。

自己紹介の後、レジュメに沿って進行させていただきます。

活動状況報告より

行事はほぼ通常どおり行っております。

ただ8月恒例の“夏まつり”はコロナ感染拡大に伴い、中止しております。

地域の方々、ご家族との交流の場でしたが残念でありました。

幸い、利用者様に感染者は出ておらず、施設内でまん延もなく過ごしております。

面会等も感染対策をとっていただき、可能です。

現在も職員は定期的なPCR検査をして気は緩めず、それでも家族に感染者が出て看病をし、人員配置に苦勞する日もありました。

知見者・・・実習生はどんな方で、どのような実習をするのですか

事務局・・・看護学校生と、福祉学科の学生さんです。

利用者様と直接かかわって、グループホームの暮らしの様子を見て頂いております。

それぞれ実習目標を立て、2週間前からアルバイトを控えて実習に入っており、

感染対策を講じられているので、お受けいたしました。

高齢福祉課・・・ボランティアの方はどのように入られていますか。

事務局・・・コロナ以前から定期で予定を組んで入っていただいております。

知見者・・・保育所のお子さんはどのようにかかわっていますか。

事務局・・・通常は浴室へ行くたびに、保育室の前を通るので、ガラス越しに手を振る程度ですが、利用者様の中には、触れたい、抱っこしたい、遊びたいとなってしまう方もおられます。感染対策上、お互い不快にならないように対応する必要があります。

以前は世代間交流が盛んであっただけに、お子さんのほうに行けなくする。鍵をかける

等は拘束とも取れ、避けたいところです。

身体拘束適正化検討委員会より

研修題目「身体拘束について」

公益財団法人東京都福祉保健財団から参考文献 ～「その人らしさ」を大切にしたケア  
を目指して～を利用して研修の機会を設けました。

日常の中での高齢者虐待につながる事例や、予防策について話し合いました。

チームワークの大切さや、もし自分だったらという置き換えが大切だという意見が多く  
上がりました。

全体の質問

知見者・・・ワクチンはどのようになっていますか。

事務局・・・利用者様、職員とも、4回接種しております。

12月の「餅つき」は地域の方々と通年どおり交流できるとよいなと思います。

次回は12月に開催予定です。日にちは未定です。追ってご連絡いたします。

以上、令和4年度 第3回 運営推進会議の開催報告書とさせていただきます。